

地域資源管理部門賞

島根県 水土里ネット出雲市斐川

次世代に「夢のある農業」をつなぐため 出前授業や植栽活動、生き物調査などを展開

児童が体験した出前授業の 感想文を地域住民の前で発表

水土里ネット出雲市斐川が管轄するのは、島根県出雲市を流れる斐伊川の右岸地域です。この地域では昭和初期から基盤整備事業を実施し、平成19年度までに



小学生に揚水機場の役割を説明

すべてのほ場整備が完了しました。

こうして長い年月をかけて農村が発展してきた歴史を地域住民と共有し、農業用施設や環境を維持・保全しながら次世代を担う子どもたちへ継承するため、水土里ネット出雲市斐川では平成12年度から21世紀土地改良区創造運動に取り組んでいます。

活動の一つが、地域の小学生を対象に行われる出前授業です。地元の4つの小学校に出向いて農業の重要性や農業用施設の役割について授業を行い、その後は現地に足を運んで実際に各種施設を見学してもらいます。揚水機場からパイプラインで農地に水を送っていることや大型農業機械への試乗などを体験するなど、児童が楽しみながら学ぶ工夫もしています。また、各校の代表児童による感想文発表会を開催し、出前授業で感じたことを地域住民約150名に聞いてもらうことで、施設の役割や重要性を再認識する機会となりました。

また、多面的機能支払交付金を活用し、地域のリー

位置図



出前授業の感想文を発表した子供たち

ダーが中心となり、斐川町全体で一つの活動組織を立ち上げ、共同活動を行っています。水土里ネット出雲市斐川は活動組織の事務局を務めるなど活動を支援しています。活動には子どもから高齢者まで幅広く参加し、集落で管理している農業用水路の周辺に花苗を植えたり清掃したりして、良好な景観を維持しています。普段はなかなか会えない住民同士が交流を楽しむ場にもなっており、活動を通じて地域のつながりが生まれています。

遊水池の水を抜いて行う 生き物調査が地元の人気行事に

また、年に1回開催している揚水機場遊水池での生き物調査が、地元の人気イベントになっています。

遊水池の土砂を撤去する際に水をいったん抜くため、その機会を利用して参加者たちに池の中に入ってもらい、生息する生物を観察し、農業用施設の役割や、施設の持つ多面的機能を地域住民の方に広く知ってもらい、実際に体験するという活動です。地区外からも一般住民や子どもたち約100名が集まり、毎年参加する常連もいるほど好評です。

こうした活動を通じて、非農業者を含めた地域住民の間にも、農村環境や農業用施設を守ろうという意識が広がりつつあります。将来子どもたちが「夢のある農業」に取り組めるように、かけがえのない農村の資源を未来へつなげていきます。

水土里ネット概要

水土里ネット名	水土里ネット出雲市斐川
役員数	21名
職員数	常勤5名
組合員数	3,225名
受益面積	2,478ha

*平成30年4月現在